

## 各地区の活動状況 <令和6年5月～10月>

5月14日(火) 東京油問屋市場は、情報委員会主催懇親ゴルフ会を千葉カントリークラブ梅郷コースにて開催。製販の有志23名が参加した。

5月15日(水) 日本マーガリン工業会の2024年度定時総会が大手町・LEVEL XXIで開催され、懇親パーティーに館野洋一郎全油販連会長と島田豪東京油問屋市場理事長が出席した。

5月16日(木) 関西油脂連合会は第21回定時総会をホテル日航大阪にて開催した。任期満了に伴う役員改選で、木村顕治会長(㈱マルキチ社長)、中川雅弘副会長(㈱中川油脂社長)が再任、新たに西塚貴則氏(㈱西塚商店社長)が副会長に選任された。総会後は懇親会を開催し、賛助会員・会員など41名が参加した。また、総会に合わせて20周年記念品のチタン製タンブラーを関係者に進呈した。



関油連木村会長の挨拶

5月20日(月) 東京油問屋市場は役員会を行い、第124回定時総会の議案を審議した。また、令和6年度の主な行事日程を決定した。



全油販連による油メ

5月22日(水) 一般社団法人日本植物油協会の令和6年度通常総会が経団連会館で開催され、役員改選で新会長に㈱J-オイルミルズ佐藤達也社長、新専務理事に片桐薫氏が就任した。総会後の懇親パーティーには館野会長をはじめ役員多数が出席し、最後は恒例の全油販連一同の音頭による油メを行った。

5月27日(月) 愛知県油脂卸協同組合は令和6年度通常総会をサイプレイスホテル名古屋駅前にて開催した。任期満了に伴う役員改選で、新理事長に長谷川徹氏(名古屋油糧㈱社長)、新副理事長に長瀬正佳氏(㈱カメタマ社長)が選任された。総会後は懇親会を開催し、賛助会員・組合員など31名が参加した。



愛知長谷川新理事長挨拶



長瀬新副理事長油メ

6月20日(木) 東京油問屋市場は情報委員会を行い、今後の活動について話し合った。

6月24日(月) 東京油問屋市場は第124回定時総会をロイヤルパークホテルにて開催した。任期満了に伴う役員改選で島田豪理事長(島商㈱社長)、館野洋一郎副理事長(㈱タテノコーポレーション社長)、穴水健治副理事長(穴水㈱社長)が再任、新たに田口靖郎氏(昭和油料㈱社長)が副理事長に選任された。

7月18日(木) 東京油問屋市場は情報委員会を行い、竹本油脂㈱から「胡麻の原料事情」について説明を受けた。

7月17日(水) 愛知県油脂卸協同組合は役員会を行い、令和6年度の行事予定、工場見学会の復活などを協議した。

- 8月6日(火) 東京油問屋市場は役員会を行い、各委員会の正副委員長の選出及び令和6年度活動計画を決定した。
- 8月21日(木) 東京油問屋市場は情報委員会による夏季製販懇談・懇親会を開催した。日清オイリオグループ(株)より「油脂原料の状況について」の説明を受け、製販営業役職者等31名の参加で活発な意見交換の場となった。
- 9月3日(火) 愛知県油脂卸協同組合は役員会を行い、第59回永年勤続優良従業員表彰候補者の承認、令和6年度経営講演会の講演内容、講師選任を行った。
- 10月19日(土) 関西油脂連合会は恒例のゴルフ懇親会を北六甲カントリークラブ西コースで開催した。
- 10月23日(水) 全油販連は第71回定時総会をロイヤルパークホテルにて開催した。総会後は講演会・講話、懇親パーティーを行った。(詳細別掲)
- 10月24日(木) 東京油問屋市場は全油販連との共催で、第39回油脂製販懇親ゴルフ会(YSG会)を我孫子ゴルフクラブにて開催。製販の有志25名が参加した。

(写真提供 油脂特報社)

## 全油販連会員へお知らせ！

### 2025年春開催 BCP セミナー（全6回シリーズ）予告

全国油脂販売業者連合会 経営委員会

2024年は正月早々に能登半島地震が起り、台風、大雨など気象災害が多発した年でした。下火になったとはいえコロナ、インフルエンザの流行など企業活動を脅かす危機はすぐそこにあります。

緊急事態を予想し、**事前に対策を計画**することで、緊急事態発生時にスムーズに対応し、**早期の復旧**を目指すことが企業に求められる大切な要素となっています。この緊急事態への対応計画を**BCP**（事業継続計画）といいます。

**BCP**（事業継続計画）がない場合、対応策を都度判断する必要が生じ、結果的に後手に回りがちです。事業の復旧が遅れると、**顧客離れ**が起り、**事業縮小や廃業の危機**に直面する可能性があります。

このセミナーでは**6回**の学習と各社での取り組みを通して各企業の**BCP**を確立することを目的とします。

#### セミナープログラム

- 第1回 構築支援スクールの概要とBCPの必要性について(オリエンテーション)。
- 第2回 BCPの概要、第三者認証(ISO、レジリエンス認証)の紹介。レジリエンス認証の規格の要求事項について。
- 第3回 事業継続基本方針の制定。BCPの前提条件を設定(例 自然災害、感染症など)。前提条件の場合の被害状況を抽出。被害状況が発生する課題・原因(=脆弱性)を抽出。
- 第4回 重要業務(人命の安全確保、近隣への被害最小化)の特定。優先事業(事業継続すべき重要内容)を特定。
- 第5回 優先事業を継続させるための戦略の決定。重要業務と優先事業の継続のための対応内容や手順書の作成。
- 第6回 手順に沿って訓練や教育の実施と、手順の有効性の確認。すべての活動内容を、代表者へ報告と評価、改善指示。

講師紹介：花村 美保 (特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会、サステナビリティ経営コンサルタント、EA21 審査員)

- 2025年3月ごろ開始予定です。(日程調整中)
- セミナーは月に一度、ZOOMを利用してリモートで行います。(初回のみ東京で顔合わせをしますがリモートも可能です)
- 受講費は6回で9万円の予定です。
- 参加者は、経営に関する意思決定ができる方、資料作成、社内啓発などの実務を担当していただける方の2名ないし3名での参加が理想です。